

# 08/09年度 PCサーバ国内出荷調査報告

ノークリサーチ(本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705:代表伊嶋謙二03-5244-6691

URL: <http://www.norkresearch.co.jp>)では2008年度の国内PCサーバの出荷状況を調査した。2009年度の予測も併せて調査、報告している。

## <08/09年度 PCサーバ市場のポイント>

08年度 PCサーバ市場は、「極冷えの市況で、6年ぶりのマイナス成長」

- 台数は対前年比2.7%ダウンで、535,487台

- 金額市場は7.0%ダウンで台数以上に落ち込む

仮想化、統合化はPCサーバ市場の再加速に及ばず。ただしブレードは二桁伸びる

NECのトップ変わらず。HP、デルの外資系ベンダは市況の影響甚大でマイナス成長

09年度はトータルでマイナス成長も、後半から更新需要が動き出す見込み

- 統合・集約化と既存サーバの更新需要で10年度以降は増勢へ

対象期間 : (2008年度実績) 2008年4月～2009年3月

(2009年度予測) 2009年4月～2010年3月

対象メーカー : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー

日本電気、富士通、デル、日本IBM、日本HP、日立製作所、東芝、三菱電機など

対象機種 : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法 : 当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査時期 : 2009年5月

## [2008年度出荷状況]

- 08年度 PCサーバ市場は、「極冷えの市況で、6年ぶりのマイナス成長」 -

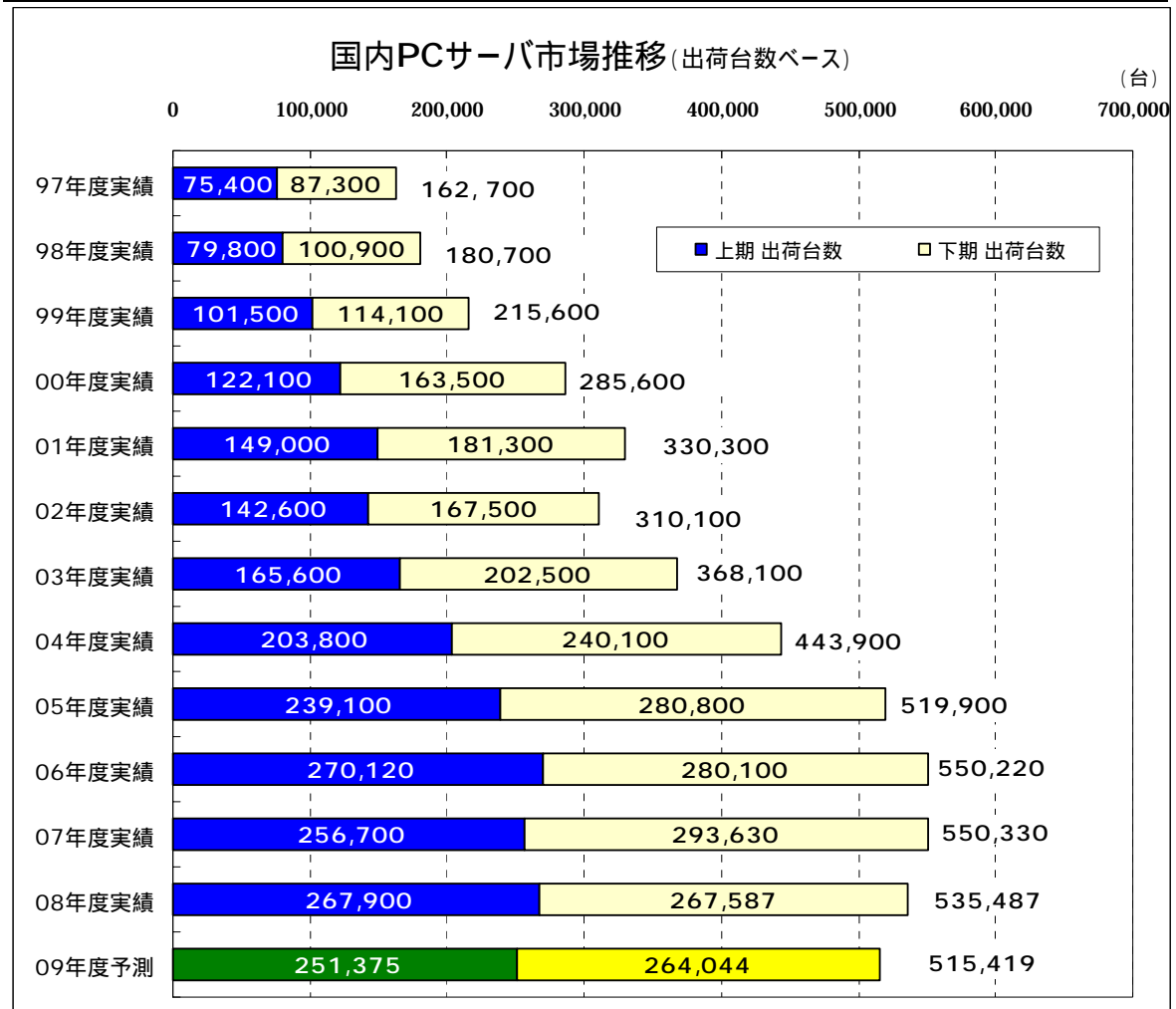
08年度上期は267,900台と対前年比4.4%アップの微増だったが、一転して下期は8.9%のマイナスで、08年度では2.7%のマイナス成長となった。08年度後半、特に09年から年度末にかけての3ヶ月は近年まれに見る「極冷え」の市況であり、新規需要、更新需要ともに、業種を問わず停止状態になっており、最後の四半期は対前年比でマイナス13ポイントとなっている。この結果を受けて、08年度は535,487台となり、前年比97.3%とマイナス成長となった。特に深刻なのが製造業や流通、金融業などの一般民需であり、09年度に入ってもその「市況感」の低迷傾向が未だに続いている。

金額市場では、平均単価の低下と出荷台数の減少で大きく落ち込むことになった。対前年比93.0%で2,814億円となっている。全体的な価格低下というより、低価格のタワーサーバの実績が平均単価を下げている。

フォームファクターでは「ブレードサーバ」はまだ大きな割合を占めてはいないが、統合化、仮想化の需要を受けて61,598台で17.0%の成長率であった。全サーバ市場の11.5%を占めている。この伸びはさらに続くことは間違いない。タワー型サーバは、いまだに中堅・中小企業の基幹システム用途や専用業務用途で確実な需要があるため、一挙にタワー型サーバの需要が減少することはなさそうだ。

## 国内PCサーバ総出荷台数推移 / 予測 (97年度～08年度実績、09年度予測)

|        | 上期      |        | 下期      |        | 合計      |        |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|        | 出荷台数    | 前年同期比  | 出荷台数    | 前年同期比  | 出荷台数    | 前年比    |
| 97年度実績 | 75,400  | 151.4% | 87,300  | 124.0% | 162,700 | 135.4% |
| 98年度実績 | 79,800  | 105.8% | 100,900 | 115.6% | 180,700 | 111.1% |
| 99年度実績 | 101,500 | 127.2% | 114,100 | 113.1% | 215,600 | 119.3% |
| 00年度実績 | 122,100 | 120.3% | 163,500 | 143.3% | 285,600 | 132.5% |
| 01年度実績 | 149,000 | 122.0% | 181,300 | 110.9% | 330,300 | 115.7% |
| 02年度実績 | 142,600 | 95.7%  | 167,500 | 92.4%  | 310,100 | 93.9%  |
| 03年度実績 | 165,600 | 116.1% | 202,500 | 120.9% | 368,100 | 118.7% |
| 04年度実績 | 203,800 | 123.1% | 240,100 | 118.6% | 443,900 | 120.6% |
| 05年度実績 | 239,100 | 117.3% | 280,800 | 117.0% | 519,900 | 117.1% |
| 06年度実績 | 270,120 | 113.0% | 280,100 | 99.8%  | 550,220 | 105.8% |
| 07年度実績 | 256,700 | 95.0%  | 293,630 | 104.8% | 550,330 | 100.0% |
| 08年度実績 | 267,900 | 104.4% | 267,587 | 91.1%  | 535,487 | 97.3%  |
| 09年度予測 | 251,375 | 93.8%  | 264,044 | 98.7%  | 515,419 | 96.3%  |



## [2008年度メーカシェア]

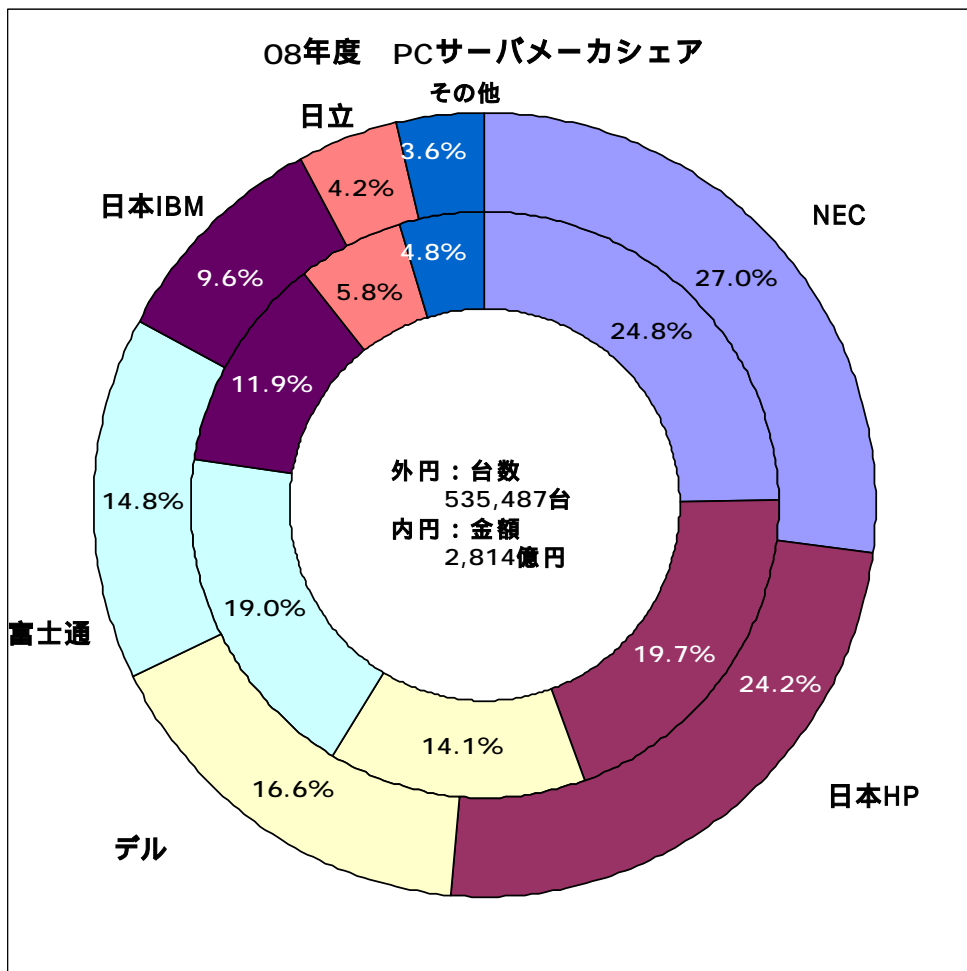
## - NECのトップ変わらず。外資系ベンダは市況の影響甚大でマイナス成長 -

NECは唯一、前年対比でプラスになったベンダだ。シェアは27.0%のシェアで一位を保つ。製品ラインアップと販売チャネルなど、官公庁・自治体から流通業の大手案件やITサービス業向けのデータセンター需要、そして低価格サーバを医療関係などの動きの良い特定業界向けに幅広いチャネルを使って拡販することで、実績を残している。

2番手のHPIは、「ブレードとラックそして低価格」という路線は変わらないが、下期は需要の低迷を大きく受けて、08年度は99.7%で前年割れとなった。特に大都市型で大企業に強味を持つ同社は08年度の後半から苦戦が続いている。また中堅・中小企業でのチャネル販売も低迷しており、シェアこそ24.2%と若干高めたが、NECには再度シェアを引き離された。

3番手以下はデル16.6%のシェアで一時の勢いがなくなっているが、多くのSI企業や中堅・中小企業の支持を受けて3番手のシェアをきっちりとキープしている。また富士通が14.8%のシェアで、積極的な施策で上昇の動きを見せている。特に下期以降では低価格サーバやチャネル見直しなどで、中堅・中小企業への深耕を展開している。IBMは金融や製造業といったエンタープライズ企業での大不振の影響を色濃く受けて、やはり前年対比で大きく下回っている。上位4社に比べ中堅・中小企業への展開で流通チャネルでの相対的な「非力さ」が目立った。

日立は対前年比73.6%と大きく実績を落としている。直販による大企業やグループ関連でのブレードやラック販売で展開しているが、シェアは4.2%と、上位グループとは大きく差をつけられている。民需の確保のために流通チャネルと競合製品との価格差をどう埋めるか、課題は多い。



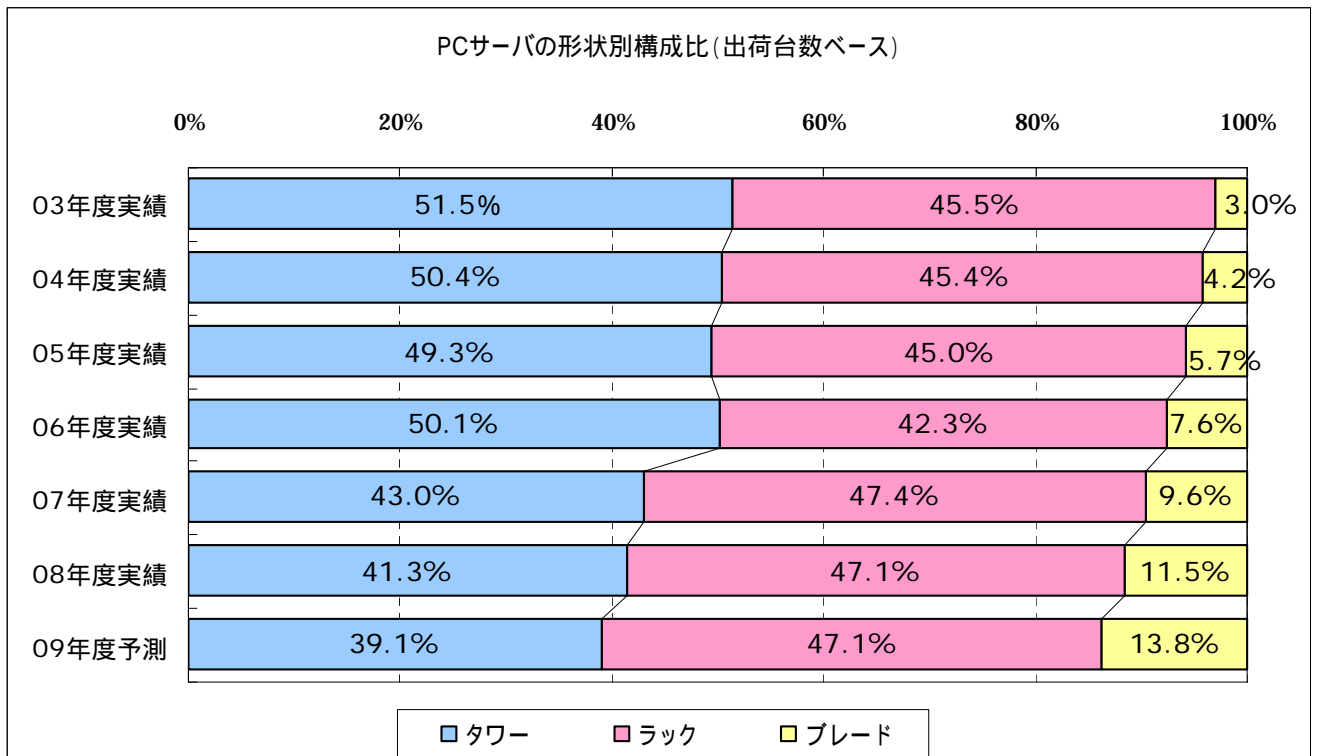
## [2009年度の市場展望]

## - 09年度はトータルでマイナス成長も、後半から更新需要が動き出す見込み -

09年度PCサーバ市場は、国内市況の低迷は引き続いており、新規、更新需要ともに凍結に近い。特に民需にその影響が大きい。官公庁・自治体、文教などでの確定案件が支えになっている。ただし現状が「底うち状態」にあるという期待感もあり、下期は前年並みとなる通じた。それでも09年度トータルではプラス成長は難しく、3% - 5%でマイナスになりそうだ。

ただし統合・集約化の動きは確実に進んでおり、仮想化をキーテクノロジーとしたIT構築機運は一層高まってくるだろう。それに伴う高機能サーバ需要は大手企業を中心に進む。またSaaS、クラウドなどの新たなITインフラ作りも進んでいるため、ITサービス提供側のサーバ需要は確実に見込める。

また新たなCPU搭載のサーバやWindowsOSの新バージョンへの切り替えなどの更新需要が「ITデフレ」の中で、今が更新のチャンスということもあり、下期以降に手控えていたサーバのリプレース需要が立ち上がることに期待感が高い。10年度以降は再び増勢の見方もできよう。



当調査データに関するお問い合わせ

**NORK RESEARCH**

株式会社 ノークリサーチ 担当:伊嶋謙二  
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705  
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
 inform@norkresearch.co.jp  
 www.norkresearch.co.jp